

小泉首相が靖国参拝

21年ぶりに終戦記念日に

小泉純一郎首相は十五日午前、東京・九段北の靖国神社を参拝した。首相は、二〇〇一年四月の就任以来、毎年一回参拝しており、今回で六回目。八月十五日の終戦記念日に参拝するのは初めてで、現職首相としては、一九八五年の中曽根康弘氏以来、二十一年ぶり。

首相は午前七時四十分、靖国神社に到着。モーニング姿で本殿に昇殿して参拝した。首相は〇一年四月の自民党総裁選で「八月十五日に、いかなる批判があろうとも必ず参拝する」と公約。しかし、太平洋戦争のA級戦犯合祀（ごうし）に反発する中国、韓国が参拝自粛を求めてきたため、中



靖国神社を参拝する小泉首相—東京都千代田区で

韓両国にとって対日戦勝記念日や植民地支配からの解放記念日に当たる八月十五日は避けて参拝してきた。首相が今年、終戦記念日の参拝に踏み切ったのは、九月の退陣を前に、公約を達成する最後の機会と判断したものとみられる。

2006年8月15日発行